

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

温浴施設へのバイオマスボイラー導入事業

排出削減事業者名：株式会社ケニマリゾート開発

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者								
会社名	株式会社クニマレリゾート開発							
排出削減事業を実施する事業所								
事業所名	オーベルジュましけ（温泉宿泊施設）							
住所	北海道増毛郡増毛町別荘 2 1 7 番地の 1							
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）								
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構							
省エネ法特定事業者番号 又は特定連鎖化事業者番号（注1）	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>							
その他関連事業者								
関連事業者名								

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

温浴施設へのバイオマスボイラー導入事業

2.2 排出削減事業の目的

温浴施設の温浴・給湯設備用のボイラーを、A 重油ボイラーから廃食油を用いたバイオマスボイラーに転換することにより、重油使用量や CO2 排出量を削減する。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

使用されているボイラーの一つを更新することにより、重油からバイオマスへの燃料転換を行い、CO2 の排出削減を行う。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

計画段階からの変更はない。

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

事業開始日 2012年 10月 22日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

【共通】：2013年 4月 1日 ～ 2015年 3月 31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

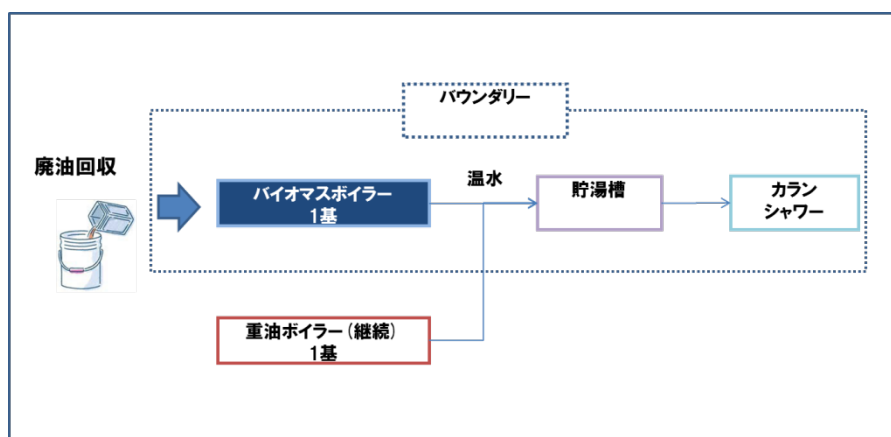
活動量・原単位は使用していない

4.2.2 活動量の採用根拠

該当なし

4.3 事業の範囲（バウンダリー）

< 事業実施範囲 >



5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$F_{バイオマス, Pj}$	事業実施後のバイオマス燃料消費量	t	146.54	燃料供給会社からの請求書から把握	該当なし
$HV_{バイオマス, Pj}$	バイオマス燃料の単位発熱量 (高位)	GJ/t	39.34	燃料会社からのスペックシートから把握	該当なし
$CO_2FA_{重油, Pj}$	単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0708	デフォルト値を採用	該当なし
ε_{Pj}	事業実施後のボイラ効率 (高位)	%	73.3	カタログ値を採用	該当なし
ε_{BL}	事業実施前のボイラ効率 (高位)	%	84.2	カタログ値を採用	該当なし

6 排出削減量の計算

6.1 事業実施後排出量

本事業では、事業実施後の CO2 排出量はない。

6.2 ベースライン排出量

実績報告 期間	廃油使用量 (t)	ベースライン 発熱量(GJ/t)	排出係数 (t-CO2/GJ)	CO2 排出量 (t-CO2)
2013年4月1 日~2015年 3月31日	146.54	5,018.6	0.0708	355.3
EMBL				355.3

計算式：ベースライン発熱量=146.54(t)×39.34(GJ/t)×73.3(%)÷84.2(%)=5,018.6(GJ)

6.3 リークージ排出量

バウンダリーにバイオマス燃料の輸送、貯湯槽の熱損失が含まれるが、共に、排出削減量の5%に満たない為、リークージを考慮する必要はない。

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2)	<i>EMBL</i>	355.3
事業実施後排出量 (7.1)	<i>EMPJ</i>	0.0
リークージ排出量 (7.3)	<i>LE</i>	0.0
温室効果ガス排出削減量	<i>ER</i>	355

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン-実績 (①-②)

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (2013年4月1日 ~2015年3月31日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算(kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)
バイオマス利用量	t	146.5	5,764.9	148.7